

利益を増やす最善の方法は簡易自動化による原価低減 簡易自動化の考え方・進め方

実務家が成功事例で語る簡易自動化のノウハウ

日時 2020年5月13日(水) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

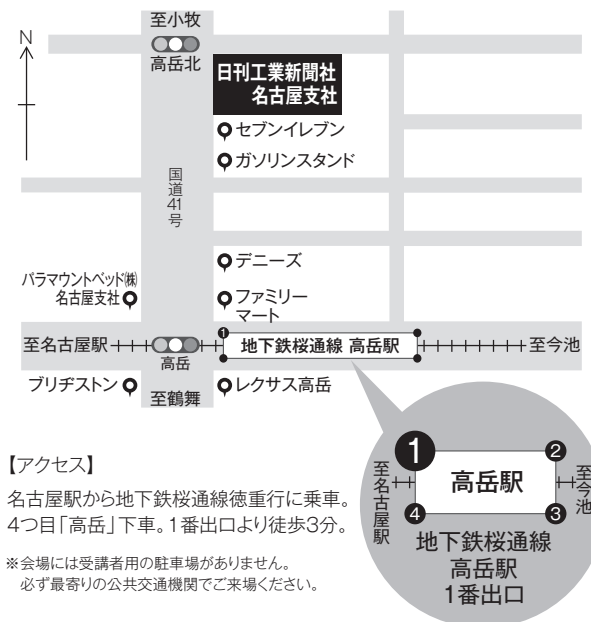
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円(資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」と記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



ご受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通)
FAX 052 (931) 6159

受講申込書

5/13 簡易自動化

お申し込みは
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp
郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

開催主旨

ものづくりの現場において品質による差別化が限界にきた現在、競争力の向上は唯一製造原価を下げることです。製造原価を下げるために、“TPS”と整合性の高い簡易自動化を組み合わせが最適な答えです。また、ものづくりのネットワークを解消する要素技術も原価低減に効果的です。自動化装置を構成する多くの要素部品が開発されており、高速化、高機能化、高精度化と多くの分野で提案されています。それらを活用するために、幅広い技術知識を駆使して、新たな組み合わせを提案し、“ちょうどいい”組合せで、“全体を整合”させることです。

このセミナーは最小限の費用で、現場の工夫とアイデアを駆使し、簡易自動化を進めるために必要な現場の知恵を学ぶ場であります。“TPS”と“ちょうどいい”関係の簡易自動化の考え方、視点を学ぶことができます。

講師

設計・教育研究所 代表

河合 優 氏

【略歴】 豊田工業高等専門学校卒業 自動車部品製造会社で自動車部品製造用の専用機、自動化装置の開発の責任者を務めた。機械の計画から完成までの広い分野で豊富な経験がある。定年退職後は豊田高専の非常勤講師、特命教授を歴任し(計7年間)、名城大学理工学部非常勤講師(機械設計・6年間)、愛知総合工科高校専攻科非常勤講師を務めている。また、専用機の開発を通じて、企業の技術者の伴走育成支援に取り組んでいる。実務家が経験と実績で解説し、若い技術者の成長のお手伝いに努めている。

【著書】「自動化設計のための治具・位置決め入門」	2014年1月	日刊工業新聞社
「機械製図CAD作業 技能検定試験突破ガイド」	2015年8月	日刊工業新聞社
「きちんと学ぶレベルアップ機械製図」	2017年8月	日刊工業新聞社
「機械製図CAD作業 実技課題と解説例」	2018年7月	日刊工業新聞社
「シッカリわかる図面の解説と略図の描き方」	2019年2月	日刊工業新聞社

プログラム

1. 簡易自動化のニーズ

- 1-1. 利益はどこにあるのか
- 1-2. 原価を下げないと利益は増えない
- 1-3. “ちょうどよい自動化”とは？
- 1-4. QCD

2. TPSと自動化(徹底した無駄排除)

- 2-1. ジャストインタイム(100%良品)
- 2-2. “イ”(ニンベン)のついた自動化

3. 計画の進め方(ちょうど良い計画)

- 3-1. 作業分析と着眼点
- 3-2. 基本構造(ちょうど良い仕様)
- 3-3. 安全と止る機能、止める機能

4. 改善力

- 4-1. 治具構造
- 4-2. アクチュエータ
- 4-3. からくり
- 4-4. 現有動力の活用
- 4-5. ブレークスルー(加工法の転換)

5. 基礎技術

- 5-1. 市販されている材料
- 5-2. 加工法
- 5-3. シーケンス
- 5-4. 電気配線と要素部品
- 5-5. 機械要素
- 5-6. ベアリング選定

6. 実施例

- 6-1. ハンドル
- 6-2. Vリブドプリー